

## 留学生活で思うこと

ビーケイ ビクラム  
BK BIKRAM

2019年11月に、ネパールから参りました。今、九州測量専門学校日本語科の2年生です。私は子どものころから科学と数学に興味がありました。だれかに「あなたは将来、何になりたいですか」と聞かれたら、私はいつも「技術者になりたいです」と答えていました。勉強が大好きで、子どものころから努力してきました。私の両親も勉強のためにより環境を作ってくれました。中学校までは私の村で勉強しましたが、将来のために高校は、町のいい学校に入学させてくれました。

2018年に高校を卒業したら、自分で留学することを考えていました。その時、両親は心配して病気になりました。ネパールの教育レベルは高いですが、就職すると賃金は安いのです。それはネパールが発展途上国で、生活レベルが低いからです。ネパールでは就職できない学生も多いので、母国で勉強したいのですが、留学したほうが良いと思いました。どこへ留学するのかは、一番の問題でした。日本は先進国なので科学技術が進んでいます。高水準の教育もあるし、学生にとって、アルバイトの機会も多いので、両親と相談して、日本に留学することに決めました。

今年の一月に新型コロナウイルスの問題が始まりました。アルバイトのシフトを減らされて困りました。学費を払うために両親から送金をしてもらいました。国でもコロナが増えているので、家族が心配です。勉強する気持ちはだんだんなくなりました。しかし、先生のおかげで5万円の奨学金をもらうことができました。もっと勉強を頑

張ろうという気持ちにさせてくれました。日本政府と熊本県も私達の生活を助けてくれました。

熊本はしずかな所です。住みやすくてネパールと同じような気候です。学校に近い学校のアパートに住んでいます。漢字は難しいですが、生活とアルバイトには慣れました。日本語の先生は親切です。わからないときは、放課後勉強を教えてくださいました。ですから、私は留学生活に満足しています。

来年、日本語科を卒業したら、九州測量専門学校の国際工学科で勉強するつもりです。日本に留学する前に、測量を勉強することを決めました。日本は資格の国です。専門学校で三年間勉強して、日本の測量会社に就職したいと思っています。日本もネパールも同じような自然災害が多いです。ネパールには日本のような技術者がまだいません。ですからインフラが整備されていません。

日本は教育や医療サービスはとてもいいと思います。私は日本で高水準の教育を受けて知識や技術を習得して、母国の発展のために活かしたいです。日本に留学して、精神的に成長できたと思います。時間とお金の大切さもわかり、何があってもあきらめない気持ちをもつことができました。日本とネパールの架け橋になれるように、頑張ります。